

総合政策特別委員会 中間とりまとめ(案)目次

はじめに

第1章 基本認識

1. 社会経済の状況・変化
2. 第1期科学技術基本計画からの実績と課題

第2章 今後の科学技術イノベーション政策の基本方針

1. 目指すべき国の姿
2. 科学技術イノベーションにおける政府の役割
 - (1) イノベーション基盤力の強化
 - (2) 科学技術イノベーションによる社会の牽引
3. 今後の科学技術イノベーション政策の推進に当たっての基本姿勢
 - (1) 世界を意識した取組の推進
 - (2) 関係行政との連携による政策の一体的推進
 - (3) 大学、研究開発法人、民間企業の基本的役割を踏まえた取組の推進
 - (4) 資金配分の基本的考え方
 - (5) 全てのステークホルダーとともに取組を推進する意識の強化

第3章 イノベーション基盤力の強化

1. イノベーションの源泉の強化
 - (1) 人材システムの改革
 - 若手人材のキャリアシステムの改革
 -) 若手研究者・大学教員のキャリアパスの明確化
 -) 若手人材のキャリアパスの多様化
 -) 若手人材の自立と活躍の促進
 - 質の高い人材の育成強化
 -) 大学院教育の強化
 -) 次代を担う人材育成と裾野の拡大
 - 多様な人材の活躍促進
 -) 女性の活躍促進
 -) 外国人の活躍促進

人材の機関、セクター、国を越えた異動の促進

）人材の機関、セクターを越えた異動の促進

）国際人材ネットワークの構築

(2) イノベーションの源泉としての学術研究と基礎研究の改革・強化

学術研究の推進

）科学研究費補助事業の改革・強化

）学術研究拠点の改革と大型プロジェクトの推進

基礎研究の推進

世界トップレベルの研究拠点の形成

(3) 研究開発活動を支える基盤技術開発、研究施設・設備の戦略的強化

共通基盤技術と研究機器の戦略的開発・活用

）共通基盤技術開発の戦略的強化

）研究開発機器等の開発、調達の促進

産学官が利用可能な研究施設・設備等の整備、共用、プラットフォーム化

）世界の科学技術イノベーションを牽引する最先端大型研究施設の整備、共用

）研究施設・設備、知的基盤の共用、高度化、プラットフォーム化

大学等の施設・設備の整備

研究情報基盤の整備

2. 民間企業が行うイノベーション活動を支えるイノベーションシステムの構築

(1) 産学官連携の革新

産学官のヒト、モノ、カネ、情報の流動促進

科学技術イノベーションによる地域創生

産学官の「共創の場」の構築

(2) 民間企業のイノベーション活動の促進と事業化支援の強化

ベンチャー・中小企業の支援強化

民間企業のイノベーション活動を促進し社会・公共の変革に資する制度改革

(3) イノベーションシステムを支える人材の育成・確保

第4章 科学技術イノベーションによる社会の牽引

1. 課題設定を通じた科学技術イノベーション

(1) 社会の重要課題への対応

(2) 急速に進化を続けるサイバー社会への対応

進化するサイバー社会を先導する研究開発の推進

現実社会にもたらされる影響への対応

科学技術イノベーション推進手法の革新

進化するサイバー社会に対応できる人材の育成・確保

(3) 国の持続的発展と安全保障の基盤となる基幹技術(コア技術(仮称))開発の推進

2. 国際活動の戦略的展開

(1) 国際的な研究ネットワークの強化

(2) 国際協力による研究開発活動の推進

3. 科学技術イノベーションと社会との関係強化

(1) 社会からの信頼回復

研究活動における不正行為、研究費の不正使用への対応

リスクコミュニケーションの強化

倫理的・法的・社会的課題への対応

(2) 社会とともに創り進める科学技術

国民の科学技術イノベーション政策への参画促進

科学技術コミュニケーション活動の推進

人文学・社会科学と連携した取組の推進

第5章 科学技術イノベーション創出機能の最適化

1. 大学の機能の最大化

2. 国立研究開発法人のイノベーションハブとしての機能の強化

3. 国の資金配分の改革

(1) 基盤的経費の改革強化

(2) 競争的経費の改革強化

第6章 科学技術イノベーション政策の推進体制の強化

1. 政策の企画立案及び推進機能の強化

2. 科学技術イノベーション政策におけるPDCAサイクルの実効化

3. 政府研究開発投資の拡充

おわりに